

横浜市会が全会一致で採択! 「ガザ地区における 平和の早期実現を求める決議」



2023年11月30日、横浜市会は「ガザ地区における平和の早期実現を求める決議」を全会一致で採択しました。

岸田首相が「休戦を求める」にとどまっている中、横浜市会の決議には、「人道目的の即時停戦及び人質の即時解放」が明記されています。決議は内閣総理大臣と外務大臣に届けられました。国はしっかり受け止めて国際社会に働きかけを。一刻も早く重大な人道危機にピリオドを。



決議全文はこちらを

- 1.人道目的の即時停戦及び人質の即時解放
- 2.国際法、国際人道法の遵守
- 3.ガザ地区における人道危機を改善するための、水や食料、燃料、医薬品をはじめとする人道支援、物資の供給
- 4.戦闘地域の不拡大



以上、全会一致をもって、決議する。



決議採択の報告をする
共産党市議団

国際社会も声を上げる

国連総会は12月12日「人道目的の即時停戦」を求める決議を、日本を含む153か国の圧倒的多数で採択しました。反対はイスラエルやアメリカ等10か国だけ。イギリス・ドイツ・イタリア等23か国は棄権しました。

あらき由美子

年齢を重ねるごとに豆が大好きになり、黒豆、花豆、金時豆、小豆、ひたし豆と色々煮ています。それぞれ味の異なる豆が煮あがった時のおいしさは格別です。豆を売っている酒屋さんは「国産なので仕入れの量が限られている」と言っています。豆に限らず米も野菜も、日本の食料自給率はカロリーベースで30%台という低さ。輸入がストップしたらあつという間に私たちはお手上げです。政府は武器を買うことよせ、国民を飢えさせないことを真剣に考えてほしい。



大阪万博暴走! 事業費3倍化 横浜園芸博は大丈夫?

横浜園芸博覧会: 2027年に上瀬谷通信施設跡地を主会場に行われる国際園芸博覧会

大阪万博の事業費総額は誘致立候補申請書で2850億円でした。この事業費が大幅に増加し、日本館など申請書に含まれていなかった事業費を加えると約8600億円。申請時の3倍。大阪市民1人10万円超の負担です! (赤旗編集部調べ)
共産党は万博中止を求めています。



大阪万博のチケットは基本入場料が大人7500円です。運営費を賄うために高額になっています。

市民の負担を増やさないで!

横浜園芸博のテーマは「幸せを創る明日の風景」大規模な開発より、今ある会場の魅力を生かしたコンパクトな園芸博は考えられないのかな。



2009年の横浜開港博を覚えていませんか? 25億円の赤字になり、12億6600万円を市費で穴埋めしました。



2022年オランダで開催された園芸博は、当初目標入場者数200万人でしたが、途中で68万人に引き下げ、実際の参加者は68万5000人でした。

横浜園芸博は会場費320億円、運営費360億円を見込んでいます。

会場建設費は2018年基本構想案策定時は240億円と試算しましたが、2021年4月には320億円に試算変更しました。2年以上たった現時点では更に増加するのではと心配になります。建設費は国・地方自治体・民間が3分の1ずつ負担しますが、自治体分の市と県の負担割合は未定です。



運営費360億円は入場料で賄います。有料入場者数は1000万人を見込んでいるので入場料は3500円。会場への鉄道計画が白紙になり、アクセスの悪い会場にそれだけの人が来るでしょうか? 受け入れる体制は? 道路整備等に市の負担が更に増えるのでは?

共産党市議団は、横浜市民に歓迎される園芸博になるように、今の社会情勢に見合った規模の縮小を提案しています。



あらき由美子公式ホームページ 1月1日開設

<https://arakiyumiko.jp>

アクセスは…あらき由美子で検索 / 右のQRコードから

